

手話の普及と
ボランティア活動
推進のために

全国スピーチコンテスト 土肥出身佐治さん出場

8月28日(土)に、東京・有楽町の朝日ホールで、全国の高校生の手話によるスピーチコンテストが開催され、身延山高校3年の佐治麻希さん(旧土肥町出身)が出場しました。佐治さんは小中学校で手話の歌を習い発表会で披露するなど、手話に親しんでいて、「手話をもっとうまくになりたい」と思い、高校3年で手話クラブに入りました。手話によるスピーチコンテストは、所属するクラブの小沢先生、また身延山大学の望月先生の推薦があり、全国88人の応募から作文とビデオ審査を通過し、10人の出場者の1人に選ばれました。佐治さんは、「紀子さまがあいさつをする際に手話をされたのがとても感動しました。コン



手話に佐治さんの優しさがこもっています

テストは手話に慣れ親しんでいる人が多く、本番はとても緊張しました。これからも手話を続け、平和の尊さを心を込めて伝えていきたい」と話しました。



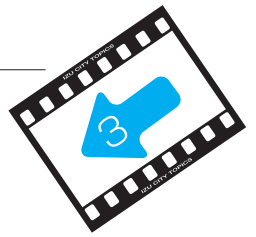
きたる災害に備えて 清水地区 消防協力隊結成



私達が地域を守ります。

9月5日(日)、清水地区では防災訓練のあと、消防団OBたちによる「清水地区消防協力隊」の結成式が行われました。結成式では市から隊員11人に法被とヘルメットが手渡され、隊員は地区の防災に努めることを誓いました。平成7年の阪神淡路大震災は、地域の防災組織によって被害を少なくすることができたという報告もあります。伊豆市の防災力を高めるためにも、協力隊の活躍が期待されます。

八岳小6年の石井涼騎くん 国際一輪車大会で 金メダル



金メダル獲得おめでとうございます

東京都の代々木公園陸上競技場などで開催された、第12回国際一輪車大会に八岳小学校6年生の石井涼騎くんが出演し、おそ乗りレースの部で見事金メダルを獲得しました。涼騎くんは、八岳二千一輪クラブに所属し、小学校2年生から一輪車を始めました。おそ乗りは10メートルの距離でバランス感覚を競う種目で、涼騎くんは他にも百メートル・高跳び・障害物・10キロマラソンなどの種目に出場しました。これからも頑張ってください。

修禅寺の舞台裏を見学しました



田子さんの話を熱心に聞く生徒たち



9月7日(火)に修善寺工業高校・建築科の生徒による修禅寺本堂の大修復の現場見学が行われました。修禅寺本堂の大修復は、今年の3月から始まり、平成18年の3月竣工を予定しています。修禅寺の工事の監修をしている田子空道さんは、「お寺の改築は約150年から200年に1回行うので、実際に現場を見学できる機会はほとんどありません。工事の現場を見学した生徒たちは、とても勉強になったのでは」と話しました。

修工生が修禅寺を見学

修禅寺の千二百年の歴史を学びました



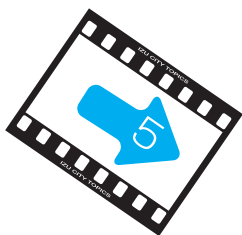
土肥高校が知事褒章を受章

わたしたちはきれいにします

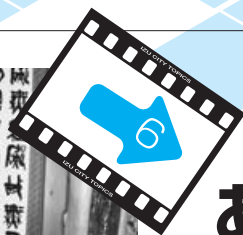
8月31日(火)、土肥高校の生徒会長の増田真二さんと前生徒会長の小野澤晶子さんが市役所を訪れ、「平成16年度河川、海岸、道路愛護表彰」で土肥高校が知事褒章を受章したことを、市長に報告しました。土肥高校では昭和53年から26年間毎年、土肥地区を流れる山川河川敷の草刈や空き缶などのごみ拾い、土肥港の海岸清掃を行ってきました。今回はその活動が評価され、表彰となりました。地域を大切にしている土肥高校の皆さんの活動は、本当に素晴らしいですね。



これからも地域を大切にしてください



9年間おつかれさまでした



長期にわたりありがとうございました

7月上旬、旧修善寺町から9年間にわたり人権擁護委員を務められた滝川肇さん(大平)に、沼津市法務局にて法務大臣からの感謝状が送られました。滝川さんには、主に修善寺地区の小中学生などへの、人権擁護啓発活動にお力を注いでいただきました。本当にお疲れ様でした。